

## 第3章 札幌市の文化財

### 1. 文化財の把握の方針

#### (1) 対象・把握の考え方について

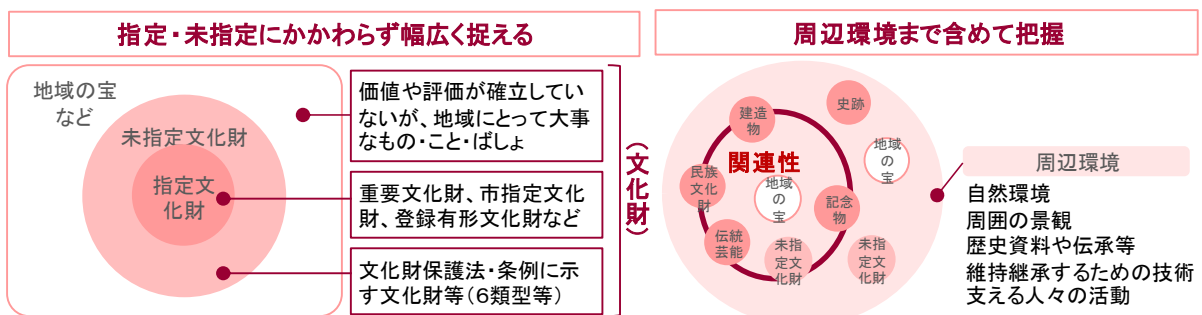
- 札幌市には文化財として指定・登録等がなされているもの以外にも貴重な文化財が多く存在している。
- それらが年月の経過とともに失われていっているにもかかわらず、その多くを把握できていない状況にある。
- これらについて都市を特徴づける貴重な財産として位置づけ、有効に活用しながら良好な状態で後世に継承していく必要がある。
- 一方で、国が示す「歴史文化基本構想」においては、地域の文化財の特性に応じて、既往の類型に捉われず、文化財を多角的な視点から見直すことや、有形・無形、指定・未指定にかかわらず、総合的に把握することが必要とされている。
- また、歴史文化基本構想にある「歴史文化」とは、文化財とそれに関わる様々な要素とが一体となったものを指しており、文化財をその周辺環境も含めて総合的に保存活用することとされている。
- 以上より、本構想における文化財の対象と把握の考え方を以下に整理する。

#### ◆対象

- 札幌市に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず、**地域にとって大事なもの・失いたくないものなどを含めて**（※具体的な要件について要検討）幅広く捉える。また、本構想においては、『文化財』を、指定・登録等の有無や文化財保護法の類型にとらわれない、地域にとって大事なものなども含めた広義のものとして使用する。

#### ◆把握の考え方

- 200万都市である札幌市には、多くの文化財が存在するため、**地域にとって大事なもの・失いたくないものを幅広く把握していくと同時に、札幌市らしさ・地域らしさを特に物語るものについては、積極的に把握に努めることとする。**
- 文化財把握の際には、周辺環境「自然環境」「周囲の景観」「歴史資料や伝承等」「維持継承するための技術」「文化財を支えている人々の活動」も含めて把握する。



※1 6類型：有形/無形/民俗/記念物/（文化的景観）/（伝統的建造物群）  
等：埋蔵文化財/（文化財の保存技術）  
（ ）は、札幌市において現時点で該当なし

## (2) 文化財の分類方法等

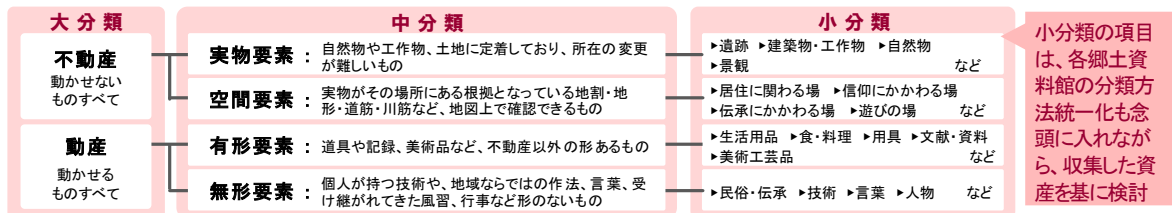
- ・幅広く「文化財」を捉えるため、これまでの6類型等も参考にしながら、総合的に把握整理できる新たな分類項目を設定する。
- ・リストの整理にあたっては、将来的なオープンデータ化、デジタルアーカイブ化等を考慮。
- ・データ利活用のしやすさや札幌の歴史や文化などの地域特性を考慮した項目を設定する。

### <参考：6類型等による文化財分類>

大分類:

有形文化財 / 無形文化財 / 民俗文化財 / 記念物 / 文化的景観 /  
伝統的建造物群 / 埋蔵文化財 / 文化財の保存技術 /

### <新たな文化財分類のイメージ>

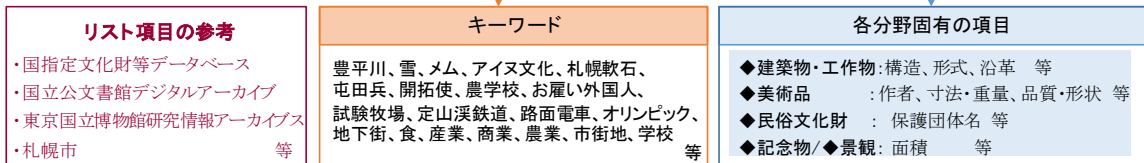


将来的なオープンデータ化、データベース化を見据え、位置情報や調査報告書・台帳等とのつながりを明記

所有者や管理者・支える人をセットで登録

ID	名称	ふりがな	札幌の文化財の分類			員数	時代	年代	西暦	重要文化財	有形文化財登録	指定年月日	都道府県	所在地	保管施設名称	所有者名	管理団体・管理責任者	緯度	経度	キーワード	関連資料	出典	各分野固有の項目
			大分類	中分類	小分類																		
001	豊平館	ほうへいかん	不動産	実物要素	建築物・工作物	1	明治	明治13	1880	○		1964.5.26	北海道	……	-	札幌市	…	…	…	…	…	…	…
002	開拓使文書	かいたくしぶんしょ	動産	有形要素	文献・資料	7832	明治	-	-	○		2014.8.21	北海道	………	札幌市公文書館	北海道	…	…	…	…	…	…	…

本業務において、データ利活用のしやすさや札幌の地域特性を考慮し設ける項目



## 2. 調査の概要

### (1) これまでの文化財調査

- ・過去に実施してきた文化財調査等の概要を以下に整理する。

	書籍名	著者・編者	発行年	備考
1	市内文化財基本調査書	教育委員会社会教育課	1970年(S45)	全分類網羅 548件の名称リスト
2	市内文化財基本調査 工作物資料	教育委員会社会教育課	1970年(S45)	工作物
3	札幌市文化財基礎調査 郷土史跡	教育委員会社会教育課	1970年(S45)	郷土資料
4	札幌市文化財基礎調査 工作物資料			碑
5	工作物(文化財基本調査)	札幌市教育委員会	1972年(S47)	工作物調査カード(石像など)
6	工作物(文化財基本調査)	札幌市教育委員会	1972年(S47)	工作物調査カード(石像など)
7	郷土資料館収蔵品一覧	札幌市	2000年(H12)	別途
8	文化財調査報告	札幌市	1984年(S59)	要望を受け調査した記録など市外資料もあり
9	文化財調査報告2	札幌市	1984年(S59)	要望を受け調査した記録など市外資料もあり
10	文化財ノート1	札幌市	1989年(H1)	
11	歴史的石造等建造物所在一覧(調査報告)	札幌市	2007年(H19)	
12	登録文化財候補建造物基礎調査報告書	札幌市	2003年(H15)	
13	歴史的建造物基礎調査綴り	札幌市	1996年(H8)	
14	近代和風建築総合調査(リスト)		2006年(H18)	調査は H16-18
15	埋蔵文化財調査報告書一式			
16	建造物緊急保存調査報告書	北海道教育庁指導部社会教育課	1972年(S47) 3月	
17	大正、昭和初期(1912~1945)の建築現存リスト—全国編・第一次 1974年	日本建築学会歴史・意匠委員会	1974年(S49)	
18	北海道の建築 1863—1974[年表]	日本建築学会北海道支部	1975年(S50) 9月	
19	新版 日本近代建築総覧 各地に遺る明治大正昭和の建物	日本建築学会	1983年(S58) 1月	
20	北海道の近世社寺建築 近世社寺建築緊急調査報告書	北海道教育委員会	1989年(H1) 3月	
21	北海道の近代化遺産 近代化遺産総合調査報告書	北海道教育委員会	1995年(H7) 3月	
22	札幌市の歴史的建物 歴史的建物の実態調査(1996年) および 1982年、1991年、1996年の 3時点の経年的追跡調査から	札幌市歴史的建物実態調査団	1997年(H9) 3月	
23	都市景観重要建築物等の選定策定調査報告書	(有)ホルス計画室	1999年(H11) 3月	
24	北海道の近代和風建築 近代和風建築総合調査報告書	北海道教育委員会	2007年(H19) 3月	
25	景観重要建造物等の調査研究報告書	北海道大学工学研究科 建築史意匠学研究室	2008年(H20) 3月	
26	近代建築ガイドブック[北海道・東北編]	越野武+坂田泉	1985年(S60) 1月	
27	総覧 日本の建築 1 [北海道・東北]	日本建築学会	1986年(S61) 10月	

28	北の建物散歩	越野武＋北大建築史研究室	1993年(H5) 9月	
29	札幌の建築探訪	北海道近代建築研究会	1998年(H10) 10月	
30	さっぽろ再生建物案内(第2版)	札幌建築鑑賞会	2003年(H15) 4月	
31	さっぽろ・ふるさと文化百選(パンフ)	札幌市市民局市民文化課	1988年(S63) 選定	
32	中央区歴史の散歩道(冊子)	札幌市中央区市民部総務課	1999年(H11)	
33	北区歴史と文化の八十八選(ガイドマップ)	札幌市北区市民部市民課	1990年(H2) 選定	
34	東区まち知るべ(冊子:第5刷)	札幌市東区市民部総務企画課	2009年(H21) (事業:1994年(H6)～)	
35	白石歴しるべ(HP)	札幌市白石区市民部地域振興課	1993年(H5) 設置	
36	あつべつ見聞録(冊子:第3版)	札幌市厚別区市民部総務広報課	1997年(H9) (事業:1990年(H2)～)	
37	とよひらふるさと再発見(HP)	札幌市豊平区市民部地域振興課	1992年(H4) 選定	

※今後、上記調査等内容について確認整理を行い概要記載予定

※今後、調査を充実させるべき文化財の類型や分野、補足すべき項目等について検討・記載

### 【H27年度調査概要】

- 「建造物」「歴史資料」「土木構造物」について、調査の対象範囲など、調査全体の枠組みを整理
- 「建造物」について、調査手法、記録管理方法、調査スケジュール、価値評価の視点・基準を整理し、文献資料に基づき所在調査を実施した。

### 【H28年度調査概要】

<建造物>

- H27年度に作成したリストの中から調査対象候補として約300棟を抽出。(文化財指定等がなされているものは一定の価値評価済みとして対象から除外)
- 現況調査実施：131棟 ⇒調査個票あり

<土木構造物>

- 文献や札幌市ホームページ等の情報を基にリスト化。(橋梁約200件、トンネル・ダム約30件)
- 現況調査の手法について検討

<歴史資料>

- 市内の郷土資料館(13館)を対象として所在地や収蔵リストの概要をまとめ、各資料館の独自のものや、民具等資料館に共通するキーワードを抽出した。また、資料のデジタル化等、今後の方向性や課題を検討した。

## 【H29年度調査概要】

### <建造物>

○H28年度に作成したリストの中から調査対象候補として、所有者の了承を得られたもの32件を抽出。

### <土木構造物>

○平成28年度報告書の所在調査一覧より調査対象候補として37件を抽出。（橋梁32件、トンネル3件、ダム2件）

### <歴史資料>

○平成28年度に調査した郷土資料館の収蔵品に関する補足調査およびリストの整理。

※以上の調査はNPO法人歴史的地域資産研究機構（れきけん）に委託して実施（H27, 28, 29）

### <文献調査>

○新札幌市史（第1巻～第7巻8冊 ※第5巻は上下巻）、さっぽろ文庫別冊（4シリーズ11冊）から、有形、無形を問わず、文化財的分類に該当し、かつ、建築・制作・発祥等から50年以降経過しているもの、年代不詳の文化財約9,000件を抽出し、併せてこれらの文化財について札幌の特徴を表す「キーワード（開拓使、お雇い外国人、札幌農学校、和洋折衷、屯田兵、アイヌ文化、オリンピック、雪、レンガ、軟石、市電、定山溪鉄道、玉葱栽培、りんご栽培、ビール、産業・農業、水道、定山溪温泉、創成川、豊平川）」との関連状況を整理した。

## (2) 構想策定と合わせて実施した文化財調査 (※今年度実施予定のもの)

### 1) 文化財募集市民アンケート

#### ○WEBアンケートによる市民アンケート

札幌の歴史文化に関するアンケートを短期間かつ効率的な意見収集のため8月中旬頃に実施する。設問数は選択肢1問、自由記述1問を予定。(別紙参照:参考資料-2)

#### ○札幌市HPや区役所・まちづくりセンターでのポスター掲示による文化財募集(予定)

文化財を市民から広く募集し、ストーリーに関連するものは関連文化財群として反映させる。

#### ○連合町内会アンケート(予定)

11月23日開催予定のシンポジウム時に「わたしたちのお宝写真展～連町会長さんが選ぶ!地域の文化財90～(仮称)」を行うことを予定。そのために、市内90の連合町内会に、地域一押し文化財を問うアンケートを実施する。シンポジウムでは、集まった文化財の位置とそれにまつわるストーリーを取りまとめたパネルを展示する。

#### ○シンポジウム参加者へのアンケート

#### ○まちあるきイベント参加者へのアンケート

### 2) 郷土資料館へのヒアリング・アンケート(スクリーニング調査)

膨大に所蔵された郷土資料館(13館)の収蔵品・資料等の中から、その地域の歴史文化の特徴をよく物語っていると思う収蔵品・資料等について、その意味付けも合わせて伺いながら抽出するヒアリング・アンケートを実施。

### 3) 市民ワークショップ(連続講座『れきぶんスクール(仮)』)(別紙参照:参考資料-3)

全市を対象に、WEBアンケート、広報、札幌市HPで参加者を募集し、「札幌の歴史文化を学ぶ」「文化財を出し合う」「つながりを考える」「現地調査の実施」「関連文化財群のストーリーづくり」「市民に発信する(シンポジウム)」といった一連の連続講座として実施する『れきぶんスクール(仮)』において、参加者等の議論から抽出された文化財を整理する。

### 4) まちあるきツアー

文化財保護指導員がまちあるきツアーで対象とした見どころについて、その解説内容も合わせて抽出整理する。

これまでの実施例:創成川東地区の今昔～吉田茂八碑、北海道神宮頓宮、創成橋など

### 3. 文化財の現状

#### (1) 既知の文化財

- 1) 有形文化財（建造物）
- 2) 有形文化財（美術工芸品等）
- 3) 無形文化財
- 4) 民俗文化財（有形・無形）
- 5) 天然記念物
- 6) 埋蔵文化財
- 7) ふるさと文化百選
- 8) 北区八十八選
- 9) . . . . .

#### 【札幌市景観計画による制度】

- 景観重要建造物
- 景観重要樹木
- 景観資産
- 活用促進景観資源

※それぞれの文化財の概要説明、数などを記載

※今後の方針、課題等あれば合わせて記載

※関連する行政計画によるものの記載のしかたについては今後具体的に検討

#### (2) 既往・新規調査による歴史文化資産

※調査により整理された文化財の概要説明、数などを記載

※課題等あれば合わせて記載

#### (3) 文化財のデータ化の現状

既知の文化財、既往調査により収集した文化財、市民アンケート・郷土資料館へのヒアリング・アンケート（スクリーニング調査）・ワークショップ等により収集した文化財のデータ化を実施し、●●●件のリスト化を行った。

※今後も継続した文化財のデータ化を実施する。